

# 東北日報

本報創刊二十五年... 印刷部 電話四〇〇番

## 四倉漁港を 農林省技師調査

### 愈々改修實現と見て 舉町一致の運動開始

石城郡四倉町の死活問題として輿論高潮してゐる漁港改修問題に對し舉町一致の運動を續けてゐることは既報の如くであるが、緊縮政策の實施によつて新規事業の中止に、伴ひ同漁港問題の前途も大いに憂慮されて居るが、此場合辻違なる態度にては萎縮せる同町の現境より脱出すること不可能なれば自力にて或程度迄進めざるを得ないとして、事業の完成を期すには周到なる調査を必要としこの調査方を農林省港灣課に申請中であつたが二十二日付けを以て小田技師及び川瀬技師外二名を來る二十八日付けの旨の電報に接したので、出發の如何を報告してゐる町民は右の旨の快報に接したので俄かに活氣を呈し一行の

## 中止に 伴ひ同漁港問題の前途も大いに憂慮されて居るが、此場合辻違なる態度にては萎縮せる同町の現境より脱出すること不可能なれば自力にて或程度迄進めざるを得ないとして、事業の完成を期すには周到なる調査を必要としこの調査方を農林省港灣課に申請中であつたが二十二日付けを以て小田技師及び川瀬技師外二名を來る二十八日付けの旨の電報に接したので、出發の如何を報告してゐる町民は右の旨の快報に接したので俄かに活氣を呈し一行の

來倉を一日千秋の思ひを以て待つてゐるが同町漁港修築委員漁業組合役員は一階の勇氣を以て實現運動に猛進するべきと見えて

## 幾らでもエー 補助を呉れる果

### 湯本の旅館温泉業者 町當局に陳情書提出

石城郡湯本町の入山炭礦が會社として飲料水並に温泉多年にわたつて同町の地下補助として毎年一萬七千五百圓宛を交付されてゐる事となり温泉業者として有名であつた湯本温泉は遂に「湯の出來た所が交附された補助金」温泉と化しあまつさへは飲料水までもが水源地を断たれたので

## 區會の 財産として

れを處分し直接利害關係のある營業者温泉旅館或は浴場にはビタ一文も補助を出さず、果數年前に湯本町字湯本區にしてないため不景氣の深刻

## 昨夜の火事

### 磐城製炭所

石城郡内郷村磐城製炭所、昨夜十時十分頃、火災発生し、棟を焼失したが原因不明で目下平署で取調中。

## 平署の徹底的取締で 藝妓酌婦 女給等三十餘名 水堂

### 若松、野崎兩氏の暗闘から

平署では最近風紀問題名は遂に不明した事は人と云ふので近く縣知事から、何れも科料主圓に處され、悲觀

## 廿七日の民政黨部會

### 部會總會は混亂

若松、野崎兩氏の暗闘から、縣參問題が因をなし、或は分裂への道程を進むか？

## 交通違反

### 取締に懸命

印刷部數萬枚撤布、二十五日全國一斉に行はれ、交通安全を期すに際し、平署では既報の如く各團體並に組合と協力し數萬枚の印刷物を數臺の自動車、散佈し小學校児童には學校から注意を與へ、尚平署では署員全部出勤して交通取締りの特別執行を行ひ交通違反者の取締りをなす

## 明日の天氣

### （小名濱測候所）

十六日は雨で二十七日は晴れ二十四日流球方音に七百三十五と云ふ低氣壓が現れ進路を東にうつてゐるため其餘波をうけて九州方面を除く本州は二十五日朝から一般曇天となり、二十六日は終日雨になり翌二十七日は晴れる見込みである、小名濱測候所の發表である

## 人妻に 情交を迫る

一圓を提供して、平町仲間町山本正勝（三九假名）は二十四日午後九時ころ附近に居住してゐる戸塚善三郎假名方に至り善三郎が東京方面に出稼ぎのため留守となつてゐるのを奇

## 禁れう區に

### 赤井藥師附近

石城郡赤井村の磐城名所赤井嶽の開發計劃に就いては地元有志等の手で考究中だが、漸くその準備も整ひ實行に着手する運びとなつたが先づ第一に郡道を縣道に編入して大改修をなし、藥師堂を中心とする周囲三百餘町歩を禁獵區とし頂上の平坦地には大グラウンドを設置し、大遊園地化する計画で、禁獵區は目下飼育中の神鹿、キツ山鳥の類を繁殖して放飼することになす方針である

## 少女隠れる

### 石城郡玉川村大川原吉田

石城郡玉川村大川原吉田、治方同郡小名濱町草野新兵衛長女タカ（八ツ）が去る二十一日午前八時頃登校の途中小名濱町から疾走し來つた同町吉田長八所有の貨物自動車に轢かれ生命危篤、中堅農民現地視察、石城郡中堅農民講習生は十一月四日現地講習の爲め仙臺市に出張中に開演される一、道東北六縣聯合園藝共進會並にキリンビール仙臺工場を視察すると

した結果村議猪狩定四郎氏假名に一圓を提供して情交を迫らんとしたのでハナヨは非常に驚き平署に訴へ出た爲め平署では關係者を引致し取調中

体温計、寒暖計、電四〇番

# 塔中の怪名氏 (四)

兎角する程に夜は全く明たがそれは疑ふべからざる  
けはなれて太陽が麗らかな事實であつた。  
る光りは地平線上に高く昇つて海岸の町でも最早眠り  
りさめた様子、程なく旅亭とは分らぬが何れでも文明  
の通船はハトバを離れて口の中心點を距る事遠き世界  
々に其旅館の名をよびながらの端に一個の不思議な島が  
らどん／＼やつて來るのである。其島の面積は餘程廣  
私は本船の舷門に立つて一くして暖き潮の奔る南の沿  
心に其澤山の通船の中に加岸は地影も平たんで草木も  
ねてより、聞く豪洲ホテルの繁茂し従つて野には小羊眠  
ハシケは居ないかと見廻り河には里人漁り海水深き  
すと果して其中に交つて一港灣の邊りには人家軒をな  
隻、白地に黄色く一豪洲ホテルと此島で名産の象牙、  
テル」と染出した小旗を立ててコハク、ダ島毛、海綿、眞  
てた船がげんてい近く漕ぎ珠等の製作用品からヤシの  
よせたので私は直ちに身を實、カンラン油、精蜜、阿  
おごらして其ハシケの中へ片、杜松子酒等に至る飲料  
飛乗つた。

讀者諸君！以上は此物語のな相であるが地の一端、  
りの發端で之から實に奇々即ち西北に面したる沿岸は  
怪々なる奇中の奇譚に入る南の岸とは反對で氣候は寒  
のであるが茲に一寸、私はく土地はやせて山はどつこ  
此私が何者であるかまた今つたる巖石と火山石との層  
此の豪洲旅行の目的は何事となし海は怒り逆巻き水  
であるかそれから私よりは煙おどつて幾百年以來殆ん  
十數日以前に此島へ到着し人跡は絶えて居る相な此  
て居る筈の長岡武太郎の事物凄じ場所何時の頃より  
に就いて一言話して置かねばならぬ。

讀者諸君の中には或は御來た此人物は何地に生れ何  
記憶の人もあらう、今から地より來たものか分らぬが  
數年以前——左様、たしか其骨相から云つても其日常  
不枯しの吹きすさむ秋の中覺神經が非常に鋭敏で一  
句と覺えた。葉京ロンドン種、の不可思議なる魔法を有  
發の一片の電報は全世界して居る點から云つても  
國々に一大警報を傳へた事ても世の常の人間とは思  
がある。其警報は實に二十れなない若しガルウイン先生  
世紀の今日に於ては殆んど有る有名な進化論をかりて云

へばこれ等九人の人物はたしかに古代の大ゴリウが人  
類に進化し途中未だ全く人間には變化せずして半ば人間  
半ばは猛獸の性質をそなへてゐるものと見える

二十五日替り上映 ユニバーサル特作 學生ローマンズ 全  
第三篇 野球篇 拳闘篇 主演 ジョー・デューズ氏  
大帝キネ特作 實川延松 松枝鶴子 主演  
怪談 因果双紙 津守王枝 若柳みどり 助演  
帝キネアシア特作 天才 杉村チエ子 主演  
悲劇 涙の悲曲 全 名子役 金濟美都子 助演  
マキノ雄篇 福島民友新聞連載  
河津清三郎 南光明 主演  
劍俠亂舞 決篇 泉清子 市川麗谷 新見映  
料 河上君江 櫻木梅子  
普通 帝キネ 十日ヒル  
マキノ 有聲座

有聲座の割引券あり  
白銀町 丸山雜貨店  
和歌 俳句 詩  
歌壇係り

滋養強壯劑  
キナサフラン酒  
飛ぶ様に賣れる  
定價 小瓶二二〇 大瓶二〇〇 徳用瓶五〇〇  
特約大販賣店 山野邊藥局  
平町五丁目角

突飛な安賣り  
新工場落成 半額大賣出し  
三週年記念  
特賣品 簞笥、戸棚、茶籠筒、火鉢、  
本箱、机、椅子、テーブル、  
期 間 十月三十一日まで  
實切れぬうちお早いが勝ち  
丸ほん家具店  
營業所 平町三丁目 電話五三三九番  
製造所 平町新田前 電話七二三番

附屬品卸 常盤線平町四丁目花信  
自動轉車商 山光堂  
自轉車 葬儀社  
電話五五〇番  
特に勉強致します  
内外果實問屋  
藤居商店  
平町三丁目 電話五四三番

現代醫藥界の驚異  
飲まずに治る コリサ浸透療法  
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥  
外用 コリサ  
○論より證據百聞一見に不如  
醫學博士：内野先生實驗 醫師：吉松先生發見  
定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料 内地十二錢  
特大瓶醫家用：二圓七十錢 送料 海外四五錢  
平町一丁目

特約店 大平屋藥舖  
電話六四二番  
○實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込あれ  
試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す  
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

平町田町  
高久病院  
電話五一三番  
内科、小兒科 醫學士 高久 忠  
外科、花柳病科 醫學士 赤羽 清  
耳鼻咽喉科 新瀉醫學士 赤羽 清  
レントゲン科 藥劑士 佐竹 菊雄

セビロ  
オーパ  
トニビ  
中學 通學服特賣

冬服 衾心  
正札堂洋服店  
平町前通り

有聲座の割引券あり  
白銀町 丸山雜貨店

電話四六〇番

電話四六〇番

電話四六〇番